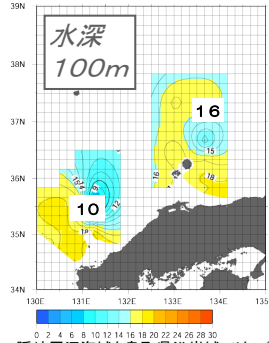
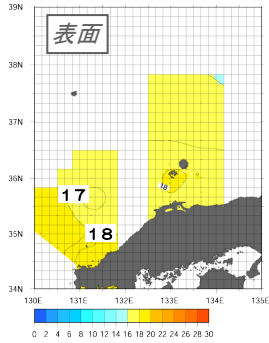


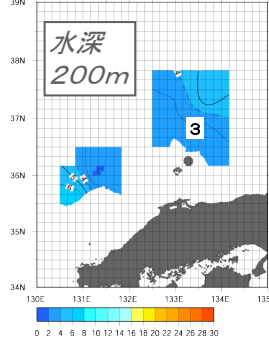
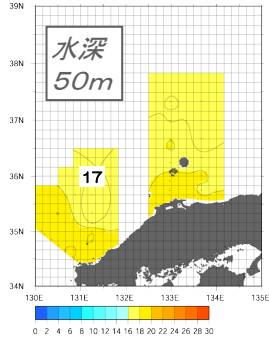
発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

試験船による海洋観測結果 (12月上旬)



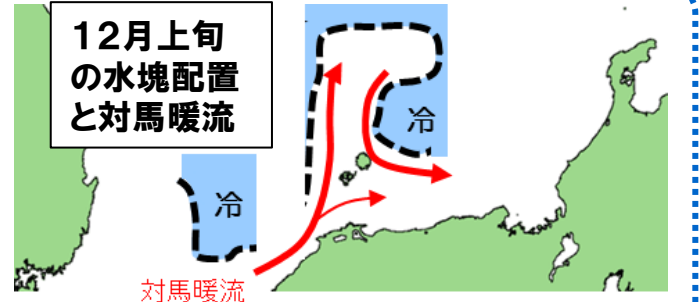
鳥取県沖と隠岐周辺海域は18℃前後で先月より3℃低下し、平年並の値となっています。

隠岐周辺海域と鳥取県沿岸域では17℃前後でした。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は17℃前後で先月より3℃低下し、平年並の値となっています。

兵庫県沖合に、北緯37°30'付近に暖水塊があります。



- 山陰若狭冷水の沿岸への張り出し：隠岐北東に山陰若狭冷水が差し込んできました。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根半島西端から隠岐北方に向かう流れが卓越しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています。ぜひご利用ください。

水産試験場

境港産マイワシの脂ののり



水揚げ量が増加している境港産のマイワシの旬の時期などを調べるため脂質含量(脂ののり)を調査しました。

対象：境港産マイワシ(まき網)、227尾(H23年11月～25年5月)
分析：化学分析(ソックスレー法による抽出測定)

その結果、脂質含量は次のとおりでした。

- ①脂質含量は、0.6～21.8%、平均7.1%
- ②ハタハタやマサバのように、体長が大きいと脂ののりが良いという関係はほぼ見られない。
- ③全てが成熟する2歳以上(体長18cm以上)のメスで見ると、2～4月の卵巣の発達時に1～5%と低くなり、産卵後の6～9月の卵巣が未発達時に12～14%と最高となる。(図1)

マイワシの旬は6～9月頃!

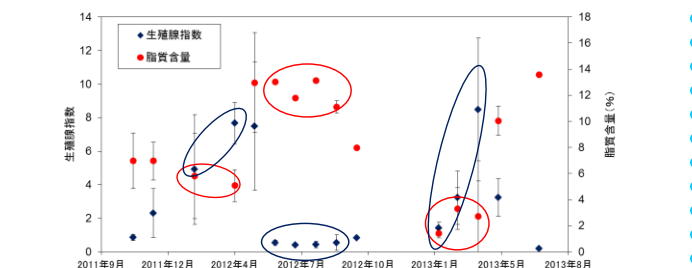


図1 脂質含量の年変動と卵巣発達の関係(体長18cm以上のメス)

また、非破壊で数秒でマイワシの脂質含量が測定できる脂質測定器のソフトも作成しました。これにより、市場や持ち込み依頼のマイワシの脂ののり測定が可能となりました。

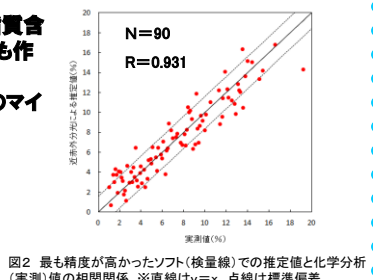


図2 最も精度が高かったソフト(検量線)での推定値と化学分析(実測)値の相関関係 ※直線はy=x、点線は標準偏差

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

★水産課からのお知らせ★

境港に新たにギンザケ加工場

～加工施設建設に伴う協定が行われました～

鳥取県的美保湾でギンザケ養殖に取り組む日本水産のグループ会社「弓ヶ浜水産」が12月16日に設立され、同日、境港市で2015年度稼働を目指す水産加工施設設置の設置に伴う、支援協定を県と境港市と締結しました。美保湾でのギンザケ養殖事業は3年目を迎え、成魚出荷量を1年目の112トンから順調に増やしてきました。来春は800トンの出荷を見込み、将来的には2,000トンを目指します。加工施設では自社の養殖ギンザケだけでなく、県内の天然魚やカニ、輸入魚の水産物加工を手掛ける予定です。弓ヶ浜水産の鶴岡社長は、「日本海の荒海で育ったおいしいギンザケを皆さんに味わって欲しい。」と意気込んでいます。



■今月の漁業許可証更新情報

平成25年12月31日までに許可の更新が必要な漁業種類は以下のとおり
潜水器漁業・・・平成25年1月1日～25年12月31日まで

■遊漁船登録業者の皆様へ

遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

栽培漁業センター

新船「石脇丸」が11月29日に竣工しました
(0.9トン、船外機船、29.4kw(40馬力))



栽培漁業センターで昭和53年から活動していた「第二おしどり」が老朽化したため、今年度新船を購入しました。船名も当センターの地名から、新たに「石脇丸」としました。減少する藻場の回復やイワガキの資源回復のための潜水調査等で皆様の港付近でも活動することと思っておりますので、よろしくお願ひします。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330